



各位
(報道発表資料)

平成20年4月21日
日本マルチペイメントネットワーク推進協議会
日本マルチペイメントネットワーク運営機構

電子決済「ペイジー」取扱が急拡大中 ～平成19年度は取扱金額約3兆円に～

マルチペイメントネットワークが提供する電子決済サービス「ペイジー」は、開始7年目となる平成19年度も前年度に引き続き、取扱件数および金額について急速な拡大を続けました。

- (1) 平成19年度のペイジー収納サービスは、**総取扱件数約3,000万件**(前年度比30%増)、**総取扱金額約3兆円**(前年度比80%増)となりました。<別紙・図1参照>
- (2) ペイジー収納サービスのオンライン方式(注1)の取扱件数は、平成20年3月に初めて**月間100万件**を突破しました。<別紙・図2参照>

国庫金収納については、国税電子申告やオンライン登記申請に係る税額控除が設けられるなど、政府による利用促進策の効果もあって利用件数が伸びております。平成19年度の1件あたり決済金額は平均100万円強にのぼり、多額の資金を安全かつ確実に取り扱うペイジーの強みが発揮され、個人利用者のみならず企業の利用も拡大しております。

地方公共団体の収納については、ペイジーで地方税および各種料金を支払える団体が平成20年度には東京都や大阪市など35団体と着実に広がりを見せております(注2)。地域住民の方々の利便性向上に役立っていることから、今後全国的な普及拡大が一層期待されています。

民間企業の料金収納については、ネット通販などを中心に利用が拡大し、インターネットバンキングやATMからの支払い件数が順調に増加しました。また「いつでも、どこでも」支払えるというペイジーの利便性が利用者の皆様に評価され、モバイルバンキングからの支払い件数も前年度比3.2倍と急伸しました。

皆様に便利で安心な決済手段を提供するため、引き続きペイジーのサービス向上に努めてまいります。今後とも、オールジャパンのインフラとして一層活用されますよう関係各位のご支援をお願い申し上げます。

以上

(注1) オンライン方式とは、インターネットバンキング、モバイルバンキング、ATMを使い、夜間や休日でもリアルタイムに支払える方式です。

(注2) 平成20年度からは新たに宮城県、桐生市、松戸市、堺市、鹿児島市がペイジー収納サービスを導入しました。

(報道発表資料・別紙)

図1. ペイジー収納サービス 年度別取扱金額および総件数

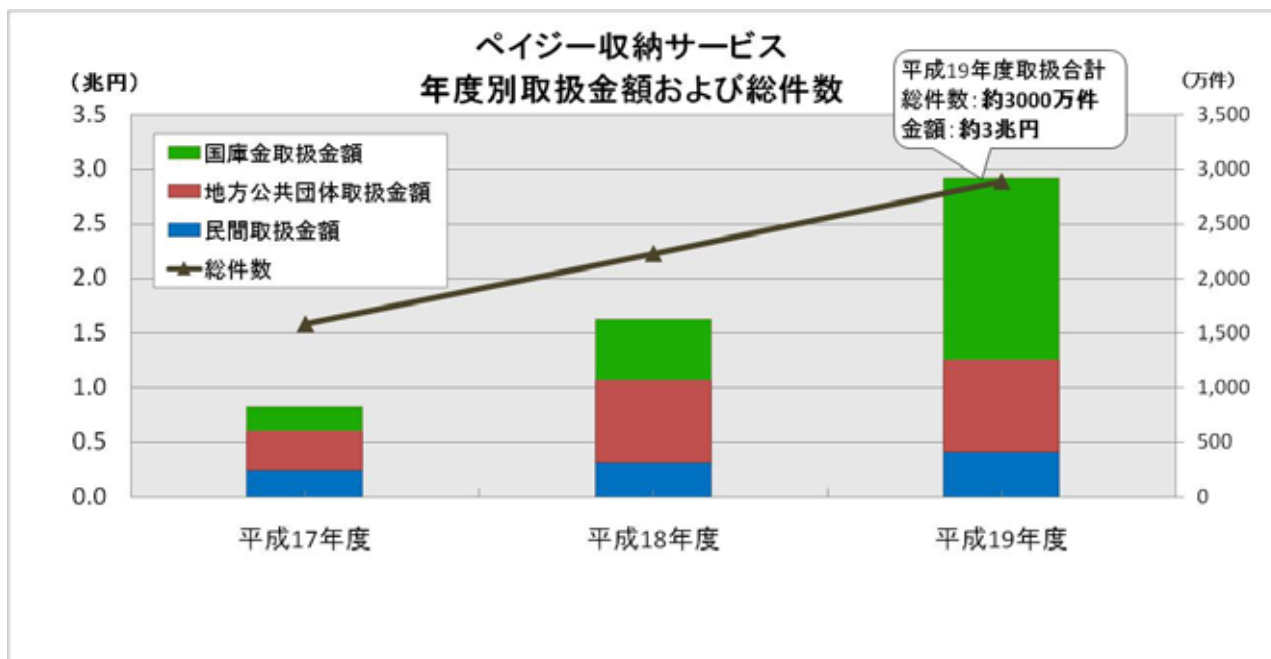


図2. オンライン方式の月別利用件数推移

